

ANRI-GREEN1号投資事業有限責任組合への出資について

株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦）は、ANRI株式会社（代表取締役社長：佐俣 アンリ、以下「ANRI」）が初めて手掛ける気候変動・環境問題特化型ファンドANRI GREEN1号投資事業有限責任組合（以下「ANRI GREEN1号」）に対して出資を行いました。

全世界的な2050年カーボンニュートラルに向けた潮流の中で、日本産業も大きな転換期を迎えています。非連続的な産業構造の変化に対応すべく、脱炭素に資する新たな技術やビジネスモデルの確立が、喫緊の課題となっています。

ANRIは、2012年に初号ファンドを設立してから一貫してシードやアーリーステージに特化したスタートアップ企業への投資を強みとしており、累計約700億円を運用しています。

ANRI GREEN1号は、気候変動や環境問題を解決しうるディープテック（※1）企業への投資に特化しており、2050年の日本のインフラを支える優れた技術を有する企業を創出し、脱炭素社会の実現に貢献することを目的としています。

〈みずほ〉は、本出資を通じてANRI GREEN1号が投資する企業と連携することにより、投資先が有する先進的な脱炭素技術や、研究開発の情報や業界動向といった、環境・気候変動分野での知見の拡充を図っていきます。さらに、こうした知見と〈みずほ〉が有するネットワークや総合金融グループとしての知見を掛け合わせることで、中堅・中小企業から大企業まで幅広いお客さまの脱炭素化に向けた取り組みへの支援を一層強化していきます。

【ANRI GREEN1号の概要】

ファンド名称	ANRI GREEN1号投資事業有限責任組合
概 要	気候変動・環境問題に特化し、脱炭素社会の実現に貢献する中長期的な技術開発をシード・アーリーステージ中心とした投資を通じて支援 【投資領域】 太陽光/風力、蓄電池、水素/アンモニア、CCUS/DAC、人工光合成/核融合など
U R L	https://anri.vc/

※1 特定の自然科学分野での研究を通じて得られた科学的な発見に基づく技術であり、その事業化・社会実装を実現できれば、国や世界全体で解決すべき経済社会課題の解決など社会にインパクトを与えられるような潜在力のある技術

以 上